SUNDAI KOFU

未来へつなぐ人材と教育力

駿台甲府高が1980年に開校後、駿台甲府中、駿台甲府小が順次開校し、小中高一貫教育機関として発展を続けてきた学校法人駿台甲府学園（甲府市塩部２丁目、田口浩一理事長）。これまで各界で活躍する卒業生を輩出し、中には駿台甲府小中高、グループの予備学校で、教育に貢献する教職員も多い。駿台の魅力や強みを語ってもらった。駿台甲府小の充実した校外学習についても紹介する。

駿台卒の教職員座談会

駿台で学び、現在は駿台の教育に携わる望月結香子氏（駿小中から2014年駿高卒、駿小教諭）、小笠原達也氏（11年駿高卒、駿中教諭）、八田政史氏（11年駿高卒、駿高普通科教諭）、西田成美氏（08年駿高美術デザイン科卒、同科教諭）、筒井揚介氏（1985年駿高卒、駿高通信制副校長）、宮辺正大氏（91年駿高卒、駿台予備学校市谷校舎長）が駿台の魅力や思い出を語った。

◇

―学校生活を振り返って。

望月結香子氏 私は小中高を駿台で過ごしました。小1から英語学習があり、囲碁、将棋、野菜作りなどを遊び感覚で体験し、楽しい中にも、多くのことを学びました。

小笠原達也氏 駿高では学業に打ち込み、自分の自由な時間を大切に過ごしました。

八田政史氏 私はハンドボールで全国一を狙いたいとスポーツクラスに入り、将来もスポーツに関わりたいと考えていたので、最適な環境でした。授業とのメリハリを心掛け、文武共存で取り組みました。

西田成美氏 作品作りの課程で考えがまとまらず、つらくて泣きながら絵を描いた時もありましたが、さまざまな人や作品と関われたのはいい経験でした。仲間はライバルでもあり、いい刺激を受けました。

筒井揚介氏 私は3期生なので、今から37年前になります。当時は男子校で、半分以上は県外生です。寮にも大勢入っていました。学校は自由活発でエネルギーがあり、「チャレンジング・スピリット」に燃えていました。

宮辺正大氏 駿高は11期から共学で、私は8期なので男子校でした。価値観の異なる県外生と学び、遊んだことは刺激的でした。

―駿台の魅力は。

望月氏 小1から6校時までの授業時間があり、チャレンジする機会が多いと思います。家に帰ってまず宿題をするという小学校の習慣は中学につながりました。切磋琢磨し、上を目指す仲間がいることも大きな魅力です。

小笠原氏 どの先生も専門知識が豊富で、知的好奇心をくすぐる授業をしてくれます。生徒と教員の距離が近く、職員室入口のスペースに、勉強の質問や進路相談に訪れる生徒がたくさんいます。駿台予備学校によるサポートは、受験での刺激になりました。

八田氏 スポーツでは全国を目指す仲間とお互いに刺激を受け合いながら、困難に向きあうことや頑張ることを学べます。

西田氏 どうしたらより良くなるか、答えが出るまで一緒に考えてくれる先生が多いです。在校生に協力してくれる先輩方がいることも魅力です。

筒井氏 駿台予備学校があり、全国レベルの勉強ができます。今は自分のライフスタイルに合わせて通信制で学ぶ人が増えています。高校卒業資格だけでなく、進学を目指す生徒も多く、多様な生徒に寄り添い指導しています。

宮辺氏 先生方のレベルが高く、教え方が上手です。勉強を頑張る人や部活を頑張る人、どんな価値観の人にも居場所があり、どんな人も受け入れる懐の深さがあるところがいいところです。

―役立っている駿台の経験は。

望月氏 どうしたら生徒の目が輝くような授業ができるのか日々考え、挑戦しています。これは私自身が小中高で「チャレンジング・スピリット」の経験があるためだと感じています。

小笠原氏 勉強や進路で壁にぶつかった時、先生方に声を掛けていただき、手助けしてもらった経験から、先生方の優しい言葉、厳しい言葉を思い出し、生徒に自分の言葉で伝えるようにしています。

八田氏 部活がすごくハードで毎日を乗り越えるのに必死でしたが、それが自分の力になりました。県外選手とも出会い多様な考えも学び、これらの経験を生徒につなげられると思います。

西田氏 美術制作でのつらさや苦しみを経験したので、生徒が同じように悩んだ時、抜け出す手伝いができると思っています。

筒井氏 情熱的でレベルの高い授業をしていただき、教える立場になり参考になっています。

宮辺氏 勉強でつまずき、立ち直った経験が役立っています。予備学校にはさまざまな生徒がいます。一つの価値観を押し付けるのではなく、いろいろな人がいてもいいと考え、アドバイスできるのは、その経験があるからです。

―仕事で感じていることは。

望月氏 まだ2年目で、日々学びです。どういう授業をするか試行錯誤していますが、校内に恩師が多いので、アドバイスを頂いています。

小笠原氏 授業を工夫していた先生方を見て、自分が教員になったらこんな授業をしてみたいと思ったのが教員になったきっかけです。今は数学の教員として、生徒に内容を教えるだけでなく、数学の学び方についても指導することを心掛けています。

八田氏 教えることは難しいと率直に感じています。生徒の考え、感じ方が違う中、一人一人を指導するためには、自分自身がいろいろな手段、知識、アプローチを持ち、向上しないといけません。

西田氏 一つの花でも100人いれば100通りの花が描かれます。個性的な生徒が多いので、対応できる力を付けなければならないと思います。

筒井氏 一方通行ではなく、一人一人に寄り添い、学力を付けるのは根気が必要で難しいです。成長を感じられた時の目の輝きが見られると、うれしいです。

宮辺氏 高1の時に先生が黒板に書いた「第一志望はゆずれない」という言葉は、ずっと心の中に置いています。市谷校舎は医学部専門校舎で、全国から受験生が集まっています。医学部受験は厳しいですが、頑張った経験はその後の人生に生きると思って指導しています。

―後輩へのメッセージを。

望月氏 いろいろなことを恐れず挑戦し、夢に向かって頑張ってほしいです。

小笠原氏 困難にも挑戦し、自分の信じる正しい道を歩み続けてほしいです。駿台はいつも皆さんを応援しています。

八田氏 環境を最大限生かし、積極的にチャレンジし、より高いところを目指してほしいです。

西田氏 うまくいかないと諦めたくなる時もありますが、乗り越える力をつけてほしいです。

筒井氏 時代の変化をチャンスに変え、果敢に挑戦していくのが駿台の「チャレンジング・スピリット」です。仲間と果敢に挑戦し、道を切り開いてほしいと思います。

宮辺氏 駿台グループは昨年100周年を迎え、駿高は今年40年目です。変革の時代ですが、駿台が培ったノウハウがあれば生き残れます。駿台を信じて頑張ってください。

駿小
望月結香子教諭
（駿小中―2014年駿高卒）

駿高普通科
八田政史教諭
（2011年駿高卒）

駿高通信制
筒井揚介副校長
（1985年駿高卒）

楽しい中に学びある　望　月氏
生徒、教員の距離近い　小笠原氏
文武共存の環境最適　八　田氏
困難乗り越える力を　西　田氏
高レベルの学習環境　筒　井氏
多様な価値観を受容　宮　辺氏

駿中
小笠原達也教諭
（2011年駿高卒）

駿高美デ科
西田成美教諭
（2008年駿高美デ科卒）

駿台予備学校市谷校舎
宮辺正大校舎長
（1991年駿高卒）

駿台甲府小 充実の校外学習

主体的な学び育む実体験

9月初旬。5年生の教室では、タブレット端末を使いながら、2泊3日の宿泊体験学習での鎌倉班別散策コースについて話し合う児童の姿があった。5年生から歴史を学ぶ駿小生。鎌倉時代までをしっかり学習した後、鎌倉への旅行を実施する。自分たちで考えたコースを友達と巡る旅は、たくさんの思い出ができるとともに、集団活動や公衆道徳などの体験も積む機会となる。

駿小ではそれぞれの学年が学習との関連の中で、充実した校外学習を行っている。4年生は八ケ岳南麓へ1泊2日の宿泊校外学習を行い、6年生は世界自然遺産の北海道・知床に3泊4日の修学旅行へ。何げない生活の中に現れる動物たちの姿から人と自然との共存を考えるほか、北方領土、アイヌ民族の文化を間近で見る学びは、学校生活ではできない感動を生む。

1・2年生は学校周辺や公共施設を徒歩で探検。身近な社会や自然から多くの発見をする。3年生からは、社会科や理科との関連が深まる。産業の学習ではワイナリーを訪問し、ブドウを食べて味の違いを感じることも学びの一つだ。スーパーでの買い物体験も自立へとつながる。

3年生から1人1台のタブレット端末を使い、見学場所で撮影した写真を、後日、電子黒板で報告し合うことも授業に組み込んでいる。友達の発表から学ぶことも多く、情報はタブレット端末で共有する。

小西静穂副校長は「校外での学びは、五感を使い、見て聞いて学べる場。広い世界に目を向け、初めて見たり体験したりすることで意識も高まり、学習活動が活発になります。事前学習では探究心をかきたて、実体験から生じた疑問は、友達と解決することで主体的・対話的な学びも育めます」と話している。

インターネット環境が整った教室で鎌倉について調べ学習をする5年生

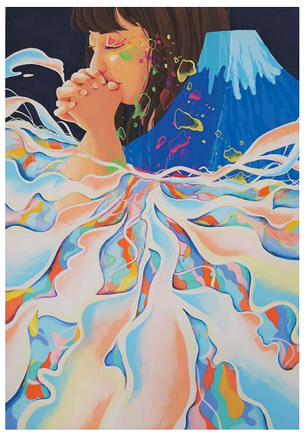
3泊4日の修学旅行で雄大な世界自然遺産の北海道・知床を巡る6年生

県高校芸文祭ポスター部門

最優秀賞に山本里奈さん（駿高美デ科3年）

駿台甲府高美術デザイン科３年の山本里奈さん＝写真＝は、県高校芸術文化祭ポスター部門で最優秀賞に輝いた。今年の芸文祭テーマ「どこまでもどこまでも自分色」を題材に、山梨を象徴する富士山と、祈る女性、祈りが力や個性となりどこまでも広がっていくイメージを、アクリルガッシュ絵の具でカラフルに表現した。山本さんの芸文祭受賞は２年連続の快挙だ。「グラデーションを描くのに苦労しましたが、昨年受賞した思い入れの深い芸文祭で選ばれ、うれしいです」と笑顔を見せる。

絵を描くことが好きで同科に入学。「コンクール出品などで苦しい時もありましたが、技術的にも精神的にも成長できました。美大に進学し、自分なりの表現ができる作品づくりを目指したいです」と向上心をのぞかせる。



県高校芸術文化祭ポスター部門最優秀賞に選ばれた山本里奈さんの作品

〈企画・制作／山梨日日新聞社広告局〉

駿台甲府小学校 TEL 055-244-0411

専願入試出願始まる

出願期間 10月18日(金)～10月25日(金)(出願書類は10月25日PM5:00必着)

試験日 11月2日(土)

学校見学・個別相談を随時お受けしています。HPよりお申込みください。

駿台甲府中学校 TEL 055-253-6233

定員が増えます！ 2020年度入学者より1クラス増えて5クラス175人となります。

学校説明会 10月5日(土) 事前申込制

時間 15:00～(受付14:30～) 内容 小学6年生対象 学校説明、2020年度入試要項説明など

入試問題解説授業 10月19日(土)、11月9日(土) 事前申込制

時間 両日9:30～(受付9:00～) 内容 小学6年生対象 国語、算数、理科(10/19)・社会(11/9)

※解説授業の内容は開催日によって異なります。ぜひ両方にご参加ください。

駿台甲府高等学校 普通科 TEL 055-253-6211

第2回 学校説明会&アスリートコース体験入学

11月4日(月・振替休日) 事前申込不要 時間 9:30～(受付9:00～)

内容 学校説明、模擬授業、部活体験、募集要項配布、個別相談など

オープンキャンパス 11月20日(水・県民の日)、入試説明会 11月24日(日)

駿台甲府高等学校 美術デザイン科 TEL 055-241-5311

学校説明会(中学生・保護者対象)10月12日(土) 事前申込不要

時間 9:30～ 内容 制作の様子・校舎・作品見学、募集要項配布、入試概要説明

体験入学(中学生対象)11月9日(土) 事前申込制

時間 9:30～15:30 内容 入試実技対策演習(鉛筆デッサン)

在校生と参加者のグループで1日を過ごします。 昼食付

自分らしさを見つける もう一つの高校

通信制で進学をめざすなら駿台甲府の通信

駿台甲府高等学校 **通信制課程**

各自の希望で学習形態が選べます

◆自宅学習中心の基本コースと通学日数を決めた登校型コース

駿台グループが学習・進学を全面的に支援します

◆映像講座やコンピュータテスト、グループ校への優遇措置

中学生・保護者のための **見学相談会**

11月17日〈日〉/12月14日〈土〉

時間 ①10:00-11:30 ②14:00-15:30 両日共通 同一内容

対象 新入学希望の生徒・保護者

事前申込制 お電話または本校HPより

転入・編入は随時募集しています

ご希望の方はお電話にてお問い合わせください

〒400-0845 山梨県甲府市上今井町884-1 (駿台今井キャンパス)

お問合せ先 0120-17-1524 055-243-0277